

## 義肢装具適合に必要な評価学 第6弾

### 脳卒中片麻痺者に対する装具介入のためのクリニカルリーズニング

主催 公益社団法人 日本義肢装具士協会  
研修委員会

評価という視点から脳卒中片麻痺在宅ユーザーに対する評価について学ぶことを目的とし、臨床推論による思考過程プロセスの理解ができるようになることを目指します。他職種では臨床推論(クリニカルリーズニング)の教育が当たり前になりつつありますが、義肢装具教育では臨床推論を体系的に学ぶ機会が少ないです。本セミナーでは臨床推論によって補装具適合評価の重要性に関して包括的に評価の重要性とプロセスを理解できるよう、セミナーを企画いたしました。皆様からの参加を心よりお待ちしております。

#### 記

日時：2021年 3月7日(日) 10:00~16:30(予定) 注意：受付9:00~9:50

会場：三宮研修センター(兵庫県神戸市中央区八幡通4丁目2-12 RIIビル)

費用：事前登録(会員8,000円, 医療系職種10,000円, 非会員16,000円, 学生会員1,000円)

締切：2021年 2月1日(土) 注意：入金締切

#### 講演内容

##### 講演Ⅰ：「クリニカルリーズニング総論・症例に対する臨床推論」

勝谷将史 先生：西宮協立リハビリテーション病院(MD)

クリニカルリーズニングの総論として、臨床推論の重要性と思考過程方法の基礎的なことについて解説していただきます。

##### 講演Ⅱ：「クリニカルリーズニング各論・症例に対する装具介入のための臨床推論」

春名弘一先生：北海道科学大学(PT)

在宅患者に対する臨床推論の各論として、目の前の対象者の問題を整理し、なぜ、それが出来ないのか？できるようにするにはどうすれば良いのかを整理しながら、推測していくための思考過程を学習します。

##### 講演Ⅲ：「クリニカルリーズニング各論・症例に対する装具設計のための臨床推論と評価」

川場康智 先生：株式会社小豆澤整形器製作所(PO)

在宅の脳卒中片麻痺者に対して、義肢装具士として、多職種とどのように連携し、問題点を抽出し、義肢装具の設計および製作に繋げて行くのか？その思考過程を学習します。

##### 講演Ⅳ：症例に基づくシンポジウム

事前に収集した講師への臨床に対する疑問のいくつかをピックアップして、各講師3名の臨床推論を討議していただきます。

**【申込方法】<参加申し込みサイトからの参加申込>**

右図の **QRコードをクリックまたはタップ**して頂くことで、参加登録サイトへ接続されます。そこから必要情報を記入の上、申し込みが可能です。申し込み受付後に参加費の事前振込みが必要となります。申し込み後に手続き方法を案内します。※申し込み後、1週間しても連絡がない場合は、申し込み・問い合わせ先の担当までご連絡ください。

<p><b>【問い合わせ先】</b> 北海道科学大学 保健医療学部</p> <p>幹事：昆 恵介（研修委員長） 電話：011-688-2240 メール：<a href="mailto:semi.poa@gmail.com">semi.poa@gmail.com</a></p>
--

セミナー情報 QRコード



タイムスケジュール（予定:変更の可能性あり）

時間		内容
9:30	9:50	受付
9:50	10:00	開会のあいさつ
10:00	11:10	講義Ⅰ 「クリニカルリーズニング総論・症例に対する臨床推論」:70分 講師： 勝谷将史 先生 :JR 東京総合病院 (MD)
11:20	12:30	講義Ⅱ 「症例に対する装具介入のための臨床推論」:70分 講師： 春名弘一先生 :北海道科学大学(PT)
12:30	13:20	企業 ランチョンセミナー(企業プレゼン)50分
13:20	14:30	講義Ⅲ 「症例に対する装具設計のための臨床推論と評価」70分 講師： 川場 康智 先生 :株式会社小豆澤整形器製作所 (PO)
14:40	16:10	講義Ⅳ 「シンポジウム」90分 講師 各講師登壇
16:10	16:20	質疑応答
16:20	16:25	閉会のあいさつ